

第76回 大分県民スポーツ大会

〈テクニカルガイド〉

Ver.3



**OITA CYCLING
FEDERATION**

1 会場

(1)トラック競技会場

別府競輪場

400m /周
※周長補正は行わない。

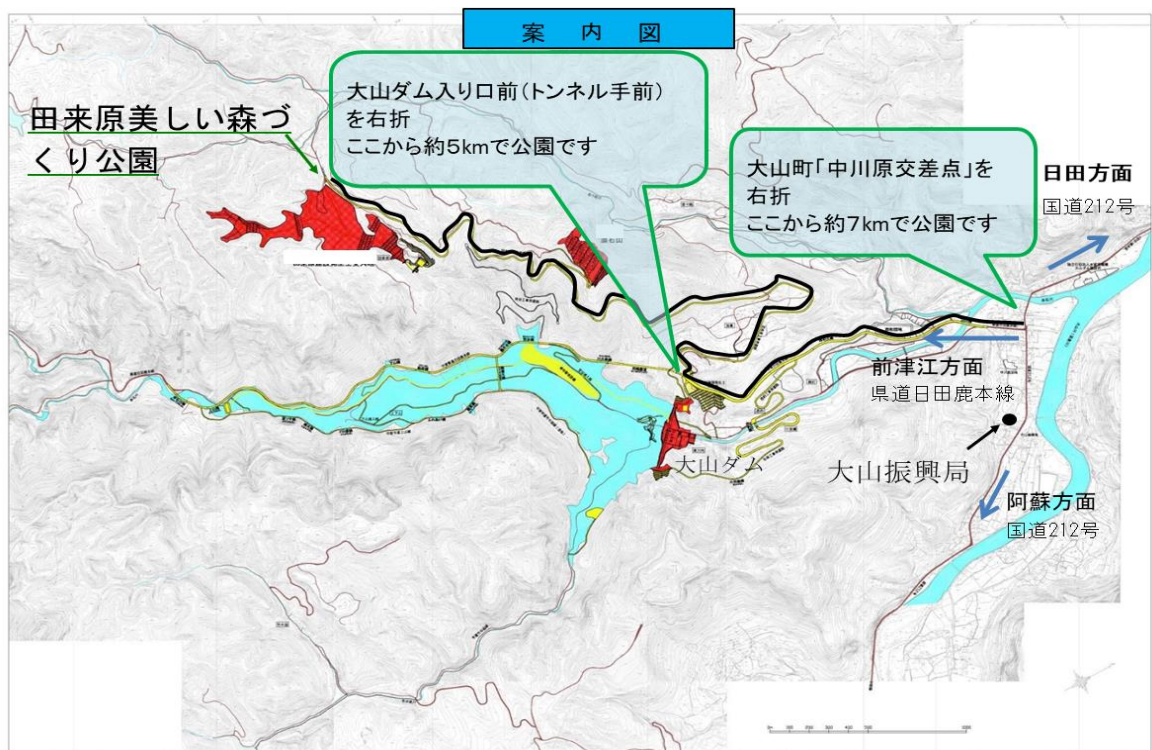
大分県別府市亀川東町 1-36



(1)ロード競技会場

「田来原美しい森づくり公園」特設コース
大分県日田市大山町西大山

1.5km /周



アクセス 日田 I Cより
国道212号、210号、県道日田鹿本線経由で約18km、車で約35分

駐車場 駐車場に限りがありますので、各都市乗り合わせでご来場ください。

2 日程

令和5年8月26日(土)

令和5年8月27日(日)

3 受付

(1) 各郡市ごとまとめてお願いします

(2) 配布物 大会プログラム等

4 監督会議

8月26日(土)

8:40

別府競輪場メインスタンド1F下審判室

5 開始式

8月26日(土)

9:20

別府競輪場

6 表彰式

8月26日(土)

15:30 トラック

別府競輪場

8月27日(日)

16:00 ロード・総合

田来原美しい森づくり公園

1～3位の入賞者(入賞チーム)は出席すること。

総合成績1～3位の郡市の代表者はロード競技終了後の表彰式に出席すること。

7 その他

本大会は観客制限を設けない。

但し、別府競輪場においては場外発売があるので一般のお客様と同様の入場となり、入場門で体温チェック・消毒をおこなうこと。

また、別府競輪場の開場は9:30以降となるのでそれまでは入場できません。

8 大会参加案内

(1) 駐車場について

第10駐車場を利用すること。

選手管理(検車場)側への駐車は、予め指定を受けた役員車両以外は厳禁とする。

荷物を降ろした後、第10駐車場に駐車してください。

別府競輪場第10駐車場 経路 →



- (2) 別府競輪場の施設・敷地内利用について
- ・大会期間中は、場外発売が行われているため、立入禁止区域には、絶対に入らないこと。
 - ※ホームストレッチ側の特別観覧席の利用は出来ません
(競輪の場外発売専用) ので関係者へ案内のこと。
 - ・競輪場内のコンセントの使用は厳禁とする。
 - ・場内に設置されているゴミ箱は使用しないこと。ゴミ等は各自各校にて持ち帰ること。
 - ・屋外ローラー場の使用は認めるが管理棟 1F にあるローラー場の利用は厳禁とする。
 - ・フィールド内でのローラーの使用は競技運営の支障をきたすおそれがあるため不可とする。
 - ・喫煙は管理棟前・敢闘門付近(灰皿設置)のみとする。
 - ・ビデオ及び写真については、観客席からのみ撮影可とする。
- (3) 待機場所・自転車の保管について
- 待機場所・自転車の保管については、敢闘門～屋外ローラー場廻りを皆で共有すること。
尚 紛失、破損、事故等の責任は負わない。
また、備え付けの備品等には一切手を触れないこと。
ごみ等も必ず持ち帰ること。
- (4) 指定練習について
- | | | |
|--|------|---|
| A班： 別府市、杵築市、速見郡、国東市、大分市、由布市 | 7:40 | - |
| B班： 中津市、豊後高田市、宇佐市、佐伯市、津久見市、
臼杵市、竹田市、豊後大野市、日田市、玖珠郡 | 8:00 | - |
| C班： 女子選手 | 8:20 | - |
- ①チーム関係者・引率責任者が選手の安全管理に責任をもって行うこと。
②入退場については、バック側に限定する。役員の指示に従って移動し、
走路に入る際はアップシューズとする。
- (5) 接触・落車等による機材の破損については、レース中の事故と同じ扱いとし、
主催者は賠償等の責任は負わない。

9 大会特別規則 <共通事項>

1. 大会名 第76回 大分県民スポーツ大会 自転車競技 (以下、本大会)
JCF競技規則2022年版、実施要項、および本大会特別規則により実施する。
本大会の特別規則は本大会のための特別規則であり、
他の競技大会に適用されたり、先例となるものではない。

2. 競技日程
令和5年8月26日(土) ～ 27日(日)

3. 大会本部
トラック： 別府競輪場メインスタンド1F下審判室
ロード： 田来原美しい森づくり公園 森づくり交流広場前

4. コミッセル・パネル

競技委員長	羽田野 昭人	大分県自転車競技連盟 理事長
審判長	橋本 文一	大分県自転車競技連盟 理事
決勝審判	来 邦敏	大分県自転車競技連盟 理事

5. 使用機材

①ヘルメット

JCF公認ヘルメット、もしくは JKA認定品 (競輪用) とする。

エアロヘルメットは T T 系種目のみ使用可能 (競走系種目、練習では使用不可)

破損、ひび割れ、公認シールのないものは使用できない。

競走系種目は No. キャップを使用するので、ヘルメットは No. キャップが装着できるものとする。

②自転車

使用する自転車は、日本自転車競技連盟競技規則による。

ただし、タイムトライアル、チーム・パーシュート、チーム・スプリントについてはロードレーサーでもよい。
チーム競技については同一車種で編成することが望ましい。

チームスプリントではDHバー等のハンドルエクステンションは使用できない。

女子スクラッチについてはロードレーサーのみとする。

検車は実施しないが各自で安全に整備すること。

明らかに違反あるもの、整備不良と判断した場合は審判の指示に従い是正すること。

6. 救急措置（医療救護体制）

競技中の負傷疾病について、現場における応急措置を用意するが、

以後の措置については参加者自身の責任によって行うこと。

大会本部に医務・救護所を設置する。参加者は健康保険証を必ず持参すること。

参加者は各郡市でスポーツ安全協会等の保険に加入すること。

【近隣医療機関】

黒木記念病院(別府市照波園町)	0977-67-1611
大分県済生会 日田病院(日田市三和643-7)	0973-24-1100
日田中央病院(日田市淡窓2丁目5-17)	0973-23-3181

7. 招集

敢闘門付近に設ける。各競技者の出走予定時刻15分前までとする。

8. 大会アナウンス（コミュニケの配布・配信）

大会進行は、アナウンスにより行う。

敢闘門付近へ速報のリザルト貼り出しを実施する。

9. 個人情報の取り扱い

選手、応援者及び競技役員等の大会参加者の個人情報（画像、映像、音声データ等）については、本大会に帰属するとともに、大会の普及活動に利用する以外の目的に利用することはない。

10. 出走申告、選手変更等について

補欠の起用、棄権はトラック・ロードとも当日の受付時に届け出ること。

チームパーシュート、チームスプリントの選手起用は、変更の有無にかかわらず

競技開始15分前までに申告すること。

なお、同一選手が両種目に出ることはできない。

10 競技別特別規則

1. 全般

競技規則第63条、第66条9～15項を熟読し遵守すること。

最終スプリント状態で3コーナーからスプリンターレーンを走行している先頭選手が、後続選手を押し上げたり、抜きにかかった選手が十分な間隔(1車以上)あけずに内側に進路変更する(押圧)、4コーナー過ぎでの斜向、ブルーバンド走行(内突)等は降格とするなど
厳しいジャッジをおこなう。

競走レースにおいて単独走以外でのハンドル上部を握る行為は禁止とする。

2. 400mタイムトライアル

400mのトラック1周で行う。

スタートはホーム・バックストレッチの計測ラインからの同時発送で行う。

(プログラムに記載の、スタート/フィニッシュ位置を確認のこと)

スタートにはスターティング・マシンを使用する。(ロードバイク除く)

スターティング・マシンに自転車をセット、準備完了後30秒カウントダウンにてスタートする。

チームスタッフ・引率者は、自転車のセット等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。

フライングがあった選手のみ次の組で再発送、該当しない選手はそのまま続行とする。

2回目は失格とする。

順位はタイムにて決定する。(同タイムは同順位とする。)

※詳細は、競技規則P179 第96条による。

3. 1 k mタイムトライアル

400mのトラック2.5周で行う。

スタートはホーム・バックストレッチの計測ラインからの同時発送で行う。

(プログラムに記載の、スタート/フィニッシュ位置を確認のこと)

スタートにはスターティング・マシンを使用する。(ロードバイク除く)

スターティング・マシンに自転車をセット、準備完了後30秒カウントダウンにてスタートする。

チームスタッフ・引率者は、自転車のセット等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。

フライングがあった選手のみ次の組で再発送、該当しない選手はそのまま続行とする。

2回目は失格とする。

順位はタイムにて決定する。(同タイムは同順位とする。)

※詳細は、競技規則P179 第96条による。

3. スプリント

予選200mフライング・タイムトライアルは手動計時とする。

予選200mフライング・タイムトライアルは2周800mを走行するうちの最後の200mを計測する。

スタートはブルーバンドより、前競技者が1周回通過後に次走選手がスタートする。

予選上位4名による3・4位決定戦/決勝戦とする。

各対戦は1回戦のみにて勝者を決める。

※詳細は、競技規則P65 第73条、第74条による。

3. 1 k m速度競走

400mのトラック2.5周で行う。

スタートはバックストレッチ、フィニッシュはホームストレッチのそれぞれの計測ラインとする。

予選を行い、各組上位3名が決勝へ、4~6位以下は順位決定戦に進出する。

※詳細は、競技規則P186 第105条による。

スタート位置は、すべて抽選による。

30m以前で事故があった場合は、再スタートとする。

競技者が再スタートを求める場合は、手をあげて合図しなければならない。この場合、2度の合図により競走を中止し、再スタートとする。該当選手は最外側からのスタートさせる。

競走中の行動は、スプリントの規則を適用する。

4. ケイリン

スタート位置は、すべて抽選による。

予選を行い、各組上位3名が決勝へ、4～6位以下は順位決定戦に進出する。
400mのトラック4周回で実施する。

スタートにおいて競技者はペーサーの直後で抽選によって決定された位置を取り、スタート後少なくとも最初の周はペーサーの後ろにつかなければならない。

すみやかに追走しない際は、その競技者を除外し、再スタートする。

ペーサーはスプリンター・ラインの内側を走り、スタート時は 30 km/h、
フィニッシュ2.0周前の測定線（200m）を過ぎてトラックを離れるまでに、
徐々に男子は45 km/h まで加速する。ペーサーは残り600m付近で離脱する。

一人または、複数の競技者が、ペーサーが中央線においてトラックを離れる前にペーサーの前輪前端を追い抜いた場合、競技を停止し失格とされる違反競技者を除外して再スタートとする。
競走中に全競技者が落車等事故の際は救済措置により再スタートとする。

スタート後半周以内の事故が発生したとき、再スタートとするが、

半周以降の事故は再レースとはならない。事故の内容により制裁の対象となる。

コンタクトプレー等（第71条8項順守違反）については、厳しい態度と裁定で対応する。

ホルダーについては、同チームの監督・チームスタッフにて（不足する際は競技役員）行う。

※詳細は、競技規則P181第98条による。

5. スクラッチ

男子決勝：4km(10周回) トラックレーサーで実施

女子決勝：2.4km(6周回) ロードレーサーで実施

女子決勝で使用する自転車はロードレーサーのみとする。

周回遅れになりそうな選手は、審判の判断でレースから除外することがある。

先頭の競技者を基準とし、周回数が同一のとき最後のスプリント着順で順位を決定する。

ニュートラリゼーションは3周回（1,300m近い距離）、最後の1kmは競技に戻ることは出来ない。

最後の1kmで競技に戻れないときは、所属していた集団の最後尾にフィニッシュしたと認定する。

スタート位置は、スプリンタレーンにヘルメットキャップ奇数番号、

走路外側にヘルメットキャップ偶数番号とする。1番キャップ以外は先着順とし、

ホルダーはチームにて（不足する際は競技役員）行う。

番号付きヘルメット・カバーを使用する。

※詳細は、競技規則P185 第101条による。

6. ポイントレース

決勝：8km(20周回)

スタートの要領、遅れた選手の扱いはスクラッチと同じ。

ニュートラリゼーションは3周回（1,300m近い距離）、最後の1kmは競技に戻ることは出来ない。

最後の1kmで競技に戻れないときは、所属していた集団の最後尾にフィニッシュしたと認定する。

スタート位置は、スプリンタレーンにヘルメットキャップ奇数番号、

走路外側にヘルメットキャップ偶数番号とする。1番キャップ以外は先着順とし、

ホルダーはチームにて（不足する際は競技役員）行う。

番号付きヘルメット・カバーを使用する。

周回遅れになりそうな選手は、審判の判断でレースから除外することがある。

※詳細は、競技規則P180 第97条による。

7. チームパーシュート

400mのトラック5周（2 km）で行う。

3名での出走を認める。

スタートはホーム、バックストレッチの計測線からの同時発走で行う。

（プログラムに記載の、スタート/フィニッシュ位置を確認のこと）

スタートには第1走はスターティング・マシンを使用する。（ロードバイク除く）

チームスタッフ・引率者は、自転車のセット等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。

フライングがあったチームのみ次の組で再発走、該当しない選手はそのまま続行とする。

2回目は失格とする。

最初の半周中にいずれかのチームに事故があった場合、そのチームの競技を停止し、最終組のあとに再スタートとする。

順位はタイムにて決定する。（同タイムは同順位とする。）

※詳細は、競技規則P178 第95条による。

8. チームスプリント

男子は3名、女子は2名で行う。

スタートはホーム、バックストレッチの計測線からの同時発走で行う。

（プログラムに記載の、スタート/フィニッシュ位置を確認のこと）

スタートには第1走はスターティング・マシンを使用する。（ロードバイク除く）

チームスタッフ・引率者は、自転車のセット等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。

フライングがあったチームのみ次の組で再発走、該当しない選手はそのまま続行とする。

2回目は失格とする。

事故があった場合、当該チームは最終組のあとに再スタートとする。

先行選手は交代ライン先15mまでにスプリンターレーンの外側に出なければならない。

当該競技者の先頭交代時に、先行競技者の前輪前端は後続競技者の前輪先端より前方で中央線を越えなければ最下位に降格となる。

順位はタイムにて決定する。（同タイムは同順位とする。）

※詳細は、競技規則P182 第99条による。

9. ロードレース

受付時に出走選手確認表を提出すること。

受付時にロードレース負担金（各郡市出場選手1名につき3,000円）の納入をお願いします。

計測チップはフロントフォークに取り付け、レース後は必ず返却すること。

ゼッケンは右の腰につけること。

ロードの試走は受付後、指定の時間に行うこと。会場周辺、駐車場での走行は禁止する。

ロードの試走は20km/h以下で安全に走行すること。

選手はスタート10分前にスタート地点に集合すること。

スタート時は最前列に開催ブロック郡市（日田市）、後方に他の郡市が整列すること。

コーナーの手前では十分に減速し、コーナーでは各自の走行ラインを保持して安全に走行すること。

周回遅れになりそうな選手は、審判の判断でレースから除外することがある。

周回遅れの選手は先頭選手がフィニッシュしたら、その周回でレースは終了する。

周回遅れの選手は周回数により順位付けする。

男子共通は予選を行い、各組上位12名が決勝に進出する。

決勝完走者に対して完走点1点を与える。

※詳細は、競技規則P124 第79条による。